

ごあいさつ

赤い羽根共同募金にご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

令和4年度の共同募金運動は、コロナ感染症の収束の兆しが見えず、大変厳しい状況が続く中で、1億2千万円余のご寄付をいただき、誠にありがとうございました。

皆様から寄せられた寄付金は、県内の民間社会福祉施設をはじめ、社会福祉団体やNPO法人、ボランティア団体等が行う高齢者・障害者・子育て支援のための事業活動や、皆様のまちの市町村社会福祉協議会などが行う生活困窮者等の見守り・居場所の提供、小中学校の福祉教育の推進、子ども食堂の開催など様々な地域福祉活動に役立てられています。

令和5年度も、「つながりをたやさない社会づくり」を目指して地域の「助け合い」「支え合い」活動を支援するため、コロナ感染症に対する衛生配慮を適切に講じながら、赤い羽根共同募金運動を実施します。

皆様方のご理解並びにご支援をよろしくお願いします。

社会福祉法人 高知県共同募金会 会長 山元 文明

赤い羽根共同募金運動について

共同募金と赤い羽根

共同募金は、「赤い羽根募金」の愛称で知られ、共同募金会という民間の団体によって都道府県を単位に行われています。

募金運動の期間は10月1日から翌年3月31日までの6か月間で、全国一斉に行われます。また、12月に行われる「地域歳末たすけあい募金」と「NHK歳末たすけあい募金」も共同募金の一環です。

共同募金は計画募金

共同募金は、地域ごとに課題解決に必要な使いみちの額（目標額）を事前に定めてから、寄付を募る「計画募金」です。募金による助成には、市町村での活動を応援する地域助成と市町村を越えた広域での活動や先駆的な活動を応援する広域助成があります。

共同募金の使いみち

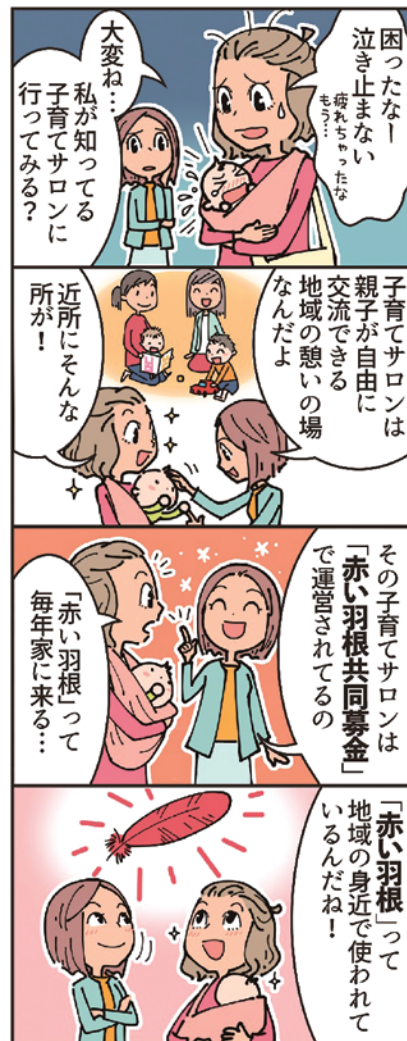
共同募金の助成は、高齢者サロンの運営や配食による見守り訪問、障がい者の共同作業所の車両整備や社会福祉施設の改修、災害時のボランティアセンターの運営など、さまざまな民間の地域福祉活動を支援しています。

■ 寄付金の税制優遇 ■

共同募金会への寄付は、法人、個人ともに、税制上の優遇措置の対象となります。

特に「赤い羽根共同募金」への寄付は、公益性、緊急性が高い寄付金として財務大臣が指定する「指定寄付金」とされ、法人寄付の場合は寄付金の全額を損金算入することができます。（共同募金会は、指定寄付金の対象となる数少ない団体のひとつです）。

また、個人による寄付も、所得控除または税額控除の適用を受けられます。



あなたの町へ寄付できます



社会福祉法人 **高知県共同募金会**

高知市朝倉戊375番地1 TEL(088)844-3525 FAX(088)843-6566

Eメール info@akaihane-kochi.jp URL http://www.akaihane-kochi.jp

個人情報につきましては、適切に取り扱い、許可無く第三者に提供しません。

赤い羽根 検索



この町で集まった募金は、この町の困ったことのために使われます。子育て支援や高齢者の配食支援に使われたり、災害支援や地域の見守りパトロールなど、支援する人をサポートする資金として使われています。支えられたり、支えたり。

赤い羽根共同募金は、その町の貯金箱のように使ってもらふもの。

そこが、「じぶんの町を良くするしくみ」なのですね。

意志あるお金、募金のチカラ。

赤い羽根共同募金



令和5年度募金目標額 1億3,600万円

※共同募金は、事前に使いみちや目標を定めて行なわれる計画募金です。そのため、寄付者の方々に「目標額」をお示ししています。

令和5年度 共同募金の計画

令和5年度の寄付金の使いみちは、このように計画しています。

地域における地域福祉活動の推進

6,746万3千円

- 一人暮らし高齢者の見守り、配食サービス
- いきいきサロンの開催
- 子育て支援
- 草の根ボランティア活動支援
- 小中学校での福祉教育

社会福祉施設・福祉団体の支援

2,002万円

- 障害者就労支援施設の車両や機器の整備
- 施設通所送迎用車両整備
- ボランティア団体の活動費支援

災害等準備金の積立

408万円

- 大規模災害に備えた準備金の積立
- 災害時には災害ボランティアセンターの運営支援

歳末たすけあい

1,943万7千円

- NHK 歳末たすけあい
施設入所者への支援、里子や長期療養者見舞金
- 地域歳末たすけあい
地域の見守り活動、生活困窮者支援

共同募金運動の推進

2,500万円

- 募金活動を推進するための広報費や資材費等

令和4年度 共同募金の結果

共同募金運動の推進

25,908,519円

災害等準備金の積立

3,648,000円

歳末たすけあい

19,710,999円

地域における 地域福祉活動の推進

59,162,305円

社会福祉施設・ 福祉団体の支援

17,539,000円

募金総額
121,602,397円
支出総額
125,968,823円

※差額は災害等準備金の
取崩金と繰越金を充当



活動報告と ありがとうメッセージ



共同募金はあなたのまちの身近な福祉に役立っています。

見守りサービス事業

四万十市社会福祉協議会(四万十市)



独居高齢者等へ配達ボランティアが弁当を届けることで、声掛けをしながら元気な姿を見ることができ、双方にとって見守りができている喜びが感じられます。

地域づくり活動

奈半利町社会福祉協議会(奈半利町)



世代間交流会を開催し、地域の男性が腕を振るうなど、高齢者から子供までが集って楽しいひと時を過ごしました。

いきいき体育大会

須崎市老人クラブ連合会(須崎市)



新型コロナで中止していた「いきいき体育大会」を3年ぶりに実施しました。友愛・奉仕事業の新たな試み「タオル防災頭巾作り」も行い、一層の結束を感じました。

コロナ対策

永野いきいき会(香美市)



新型コロナ感染防止のためのパーティションを購入し、食事を開催しました。今後も体操やレクリエーションなど、フレイル予防に取り組み、楽しく活動していきます。

生産活動用机・椅子整備事業

就労支援事業所からふる(南国市)



机と椅子を購入することができ、利用者はいきいきとした表情で生産活動に取り組んでおり、意欲に満ちた言葉が聞かれています。

作業用車両整備事業

ひかり共同作業所(宿毛市)



「野菜・果物等の加工受託作業」に使用する作業用車両の入れ替えを行い、利用者の送迎や荷物の運搬が安全にできるようになりました。

福祉教育推進事業(ワークキャンプ) 仁淀川町社会福祉協議会(仁淀川町)



中学生が、ワークキャンプを実施し、住民によるガイド付き「地域のお宝探しウォークラリー」で地域各所を巡り、【お宝マップづくり】に挑戦しました。

子ども民ちゃん食堂 大月町民生児童委員協議会女性部(大月町)



長期休み中の子どもの栄養バランスを心配した民生委員女性部が、子ども食堂を始めました。現在は、誰でも参加できる食堂にして世代間交流の場にもなっています。

赤い羽根社会参加応援プロジェクト 高知市社会福祉協議会(高知市)



社会的孤立状態にある方への支援として、様々なプログラムを体験し、社会的スキルを学ぶことで、地域社会への参加を促すきっかけづくりができました。